

日 2 月 11 年 16 和 昭

一 午前一時連絡會議終了ス
 連續十六時間ノ長時間ニ亘ル正ニ歴史
 的ノ重大連絡會議ナリ
 遂ニ作戰準備ト外交ノ二本連案ナリ
 而モ開戦決意ニ關シ意志不明確ナリ
 戰事發起十二月初頭ナル如ク思ハルモ
 之亦意味不明確ナル所アリ
 二 條件ヲ讓歩セルモノヲ以テ依然然ト眞面目
 ナル外交ヲ行ハントス 噴 遂ニ一再ハ山崩
 タリ 南部佛印ヨリ 即時撤兵ヲ讓歩ス

機 密 報 告 日 誌

第 二 十 號

日 月 年 和 昭

右同意也。サレハ外相ハ止メルト云フ開戦也。サ
 ルヲ可トス。如キ態度ナリ
 次長總長強硬ニ主張セルモ外相亦強硬
 ナリ次長之ヲ突張レハ内閣山崩壞ス
 大臣讓歩ヲ要求ス次長之ヲ拒否ス
 激論ニ激論ヲ重ネ 大臣休憩ヲ宣言シ
 大臣總長次長局長鈴木相集リ讓
 歩スベキヤ内閣投ギ出スベキヤ凝議ス
 右ノ如キヲ數度繰リ返シ遂ニ條件ヲ讓
 歩シ思ニ再開戦決意戰事準備促
 進ノ措置直ヲ取ルコトニ致シ見タリ

三、午前二時次長官中ヨリ歸リ第一、第二部長
 及班長ニ結果ヲ説明ス。
 次長連日ノ奮闘感泣ニ堪ヘサルモ、アリ
 然レトモ條件ノ讓歩ニ對シ第一部長
 極度ノ不滿アリ相互ニ悲壯ナル情思ホナリ
 第一部長外交成立セル場合ノ國際地位
 ヲ憂慮シ統帥部トシテ其ノ狀況ヲ上奏ス
 スベシト強硬ニ憤激主張ス
 四、右上奏ノ件連絡會議ニ於テ同意セル
 總長次長トシテハ不同意ナリト云フカ如キ
 上奏ヲナシ得ザル事情ニ在リ

海軍ニ連絡セル所海軍第一部長亦之ヲ
 取扱ヒ兼ネルトテ遂ニ沙汰止ミトナル
 五、會議席上海軍ハ鐵一〇〇万(之ニ對シ陸軍
 七九万屯ナシ)世見フコトヲ條件トシテ開戰決
 意ヲ表明セルガ如シ總長鐵ヲ世見ヘバ
 島田サン決意シマスカト昇ネ海相ウナズ
 ケリ海軍ノ決意ハ鐵三〇〇万屯ノ代價ナリ
 衣ハキ海軍ノ姿カナ 是レ永久ニ吾人
 ハ銘記スルヲ要ス
 軍令部總長戰華第一、第二年確算ヲ
 ルモ第三年以降確算ナシト明言ス

大官大臣確算ナキ戰事ノ決意ハ出來ヌ
ト云フ加賀屋、東郷理屈上トドカシテモ決
意ハ出來ヌト云フ
軍令部總長ノ戰事第三年以降確算
ナシト云フノモ無理カラヌ所東郷加賀屋
ノ理屈モ無理カラヌ所總理日露戰事
ノ事ヲ例シ説得スルモ東郷加賀屋納
得セズ軍令部總長「確算ナシ」發言
ニ關シ所要ノ説明ヲ加ヘシトスル態度モ
取ラス
本件陸軍トシテハ大ナル不滿アリ情ナキ

次第ト思ハサルヲ得ズ然レドモ永野總長
ノ長期戰ニ對スル見透ハ終始一貫「確
算ナシ」ノ態度ヲ取リアリ之レモ尤モト云ハ
サルヲ得ズ
總理ノ政治方ナシ東郷加賀屋等同志的
閣僚ト思ヒシニ山岡ランヤ閣内ノ結束
何等ノ事前工作ナシ組閣ニ於テ何等ノ
約束ナシ電撃組閣ヲ誇リタルモ弱体
内閣ノ根本ハ組閣ノ輕率ナルニ在リシト
認メサルヲ得ズ

六、部内東條不信任ノ聲澎湃タルモノアリ
 東條總理亦如何トモ辨令ノ餘地ナク
 ベシ
 總長、次長ニ對シテモ不満ノ聲アルハ已ム
 ナシ然レトモ總長次長ハ全力ヲ盡シ覺
 レテ後己ムノ渾身ノ努力ヲナセルヲ以テ
 自ラ願ミテ取ツル所ナキガ如ク受テベキ
 不満不信任ハ甘ンジテ受テベシノ光風
 實情ヲ知ル當班トシテハ萬腔ノ敬意ト
 歳歳ノ意ヲ表セザルヲ得ズ

七、午後五時總理西總長列立ノ上連絡會
 議決定ノ結果ヲ向奏ス
 御上ノ御機嫌麗シ總長既ニ御上ハ
 決意遊バサレアルモノト採察シ女堵ス
 東條總理浪ヲ流シツツ上奏ス總理ニ
 對スル御上ノ御信任愈々厚シ
 八、波瀾重疊迂餘曲折ノ過去現在ノ
 實情將來ノ見透ヲ考フル時歳
 俛無量ノ筆ニ盡キザルモノアリ
 過去ハ過去トシ今後ノ一月ヲ如何ニシテ

進メントスルヤ多事多難ナルカナ
此ノ如キ國策ノ憂惱苦痛遲滯ハ
柳ノ如何ナル本質的原因ニ基クヤ？
是ニ大ナル疑問敢テ茲ニ特筆セズ

一 大風(過昨日ノ興奮モ醒メタリ

明治節ノ佳節ニ方リ皇國ノ前途ヲ

祝福セントス願ヘクバ外交成功也

コトヲ祈ル

二 午後六時ヨリ非公式陸軍軍事參議

官會議ヲ開ク明日ノ公式會議ニ於テ

問題が起ラサル様駄目ヲ押サント

スルニ在リ

海軍亦然ルガ如シ